

「脳脊髄液漏出症におけるMRI造影T2強調3D FLAIR(Fluid Attenuated Inversion Recovery)の検証」 研究実施のお知らせ

1. 研究の対象となる方

2024年4月1日～2029年9月30日の間に、山梨大学医学部附属病院、関東脳神経外科病院で脳脊髄液漏出症の診断と治療を受けた方へ

2. 研究期間

研究機関長の許可日～2030年3月31日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：2026年1月15日

4. 研究の目的

脳脊髄液漏出症は様々な要因によって引き起こされますが、しばしば診断に難渋し、より確実性の高い新たな診断手法が求められています。MRIにおけるFLAIR(fluid-attenuated inversion recovery)は、水の信号を抑制するMRIシーケンスで、さまざまな頭蓋内病変の診断に応用されています。脳脊髄液漏出症においても病変が明瞭に描出されるとされていますが、その正確性は治療効果判定における妥当性は不明です。本研究では、本手法による診断の正確性などを明らかにすることを目的にしています。

5. 研究の方法

本研究では、診療記録等を用いて以下の事項について解析を行っていきます。

※この研究に必要な臨床情報については、全て通常の診療の中で取得したものになります。そのため、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

1. 患者さんの年齢、性別、症状の推移
2. 治療前後の単純および造影MRI画像所見治療選択

6. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：診療録情報、検査データ

試料：用いません

7. 外部への試料・情報の提供

関東脳神経外科病院の患者さんの情報については、個人を識別できる情報を削除し加工した上で、山梨大学に提供されます。

8. 研究組織

【研究責任者】

山梨大学 脳神経外科講座 講師 館岡 達

【既存試料・情報の提供のみを行う者】

関東脳神経外科病院 副院長 仙北谷伸朗

9. 試料・情報の管理について責任を有する者

国立大学法人山梨大学

10. 個人情報の取扱いについて

研究者等は、研究対象者の個人情報保護について、適用される法令、条例を遵守します。また、研究対象者の個人情報およびプライバシー保護に最大限の努力を払い、本研究を行う上で知り得た個人情報を漏らすことはありません。

11. 利益相反について

この研究は、山梨大学で管理されている研究費を用いて実施いたします。この研究のために、企業等からの資金提供はありません。この研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反は存在しません。また、研究責任者及び分担研究者は、利益相反について本学医学研究利益相反審査委員会に申告し、適切な実施体制であることの審査を受けております。

12. お問い合わせ等について

本研究に関してご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望により、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書や関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、本研究に試料・情報が用いられることについてご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

<研究責任者>

担当者の所属・氏名：山梨大学 脳神経外科講座 講師 館岡 達

住所：〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

メールアドレス：ttateoka@yamanashi.ac.jp

FAX：055-274-2468